

伸びる企業の秘訣は女性活躍にあり！

女性活躍推進への ワンステップ

 鹿児島県



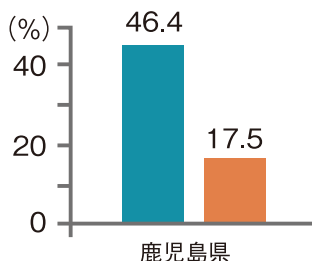
人口減少社会に突入し、いかにして労働力人口を維持し、また生産性やイノベーション力を引き上げていくかがどうか、持続的成長の最大の課題とされています。また、この課題を解決するには、働くことを希望する女性が仕事を持つようになるだけでなく、働く女性とその希望に応じた能力を十分に発揮できる働き方を実現できるかが鍵であるとされています。

こうした中、鹿児島県では、県内企業における「女性活躍推進に関する企業実態調査」を実施しました。その結果からは、働く女性が多い一方で、結婚、出産・育児を理由に就業を中断する女性も多く、また、女性の管理職登用を特に増やす考えはないという経営者が半数を占めるなど、女性の力が十分に活かされているとはいえない状況です。一方で、女性の活躍推進の取組を行っている理由についてみると、「優秀な人材の確保・定着」とする割合が最も高くなっています。

企業の持続的な成長のためには、多様な人材を活かし、その個性と能力を組織の活力につなげていくダイバーシティの取組が重要となっています。女性の活躍推進は、ダイバーシティ経営のひとつであり、人材活用戦略です。女性の力を最大限に発揮できる職場風土や働き方の仕組みを整備して、女性を人材として確保・育成・登用することにより、経営上の成果につながります。

就業者・管理的職業従事者に占める女性の割合

本県の就業者(15歳以上)に占める女性の割合は高いものの、管理職に占める女性の割合は低くなっています。



■ 就業者に占める女性の割合

■ 管理的職業従事者に占める女性の割合

総務省「平成27年国勢調査(就業状態等基本集計)」より作成
「管理的職業従事者」とは、会社役員、会社管理職員、管理的公務員等を示す。

ダイバーシティ経営の成果イメージ



※CS/ES…顧客満足(Customer Satisfaction)/従業員満足(Employee Satisfaction)
出典:経済産業省「平成28年度新・ダイバーシティ経営企業100選ベストプラクティス集」

女性活躍推進法に基づく行動計画を策定しましょう!

常時301人以上の労働者を雇用する事業主は、女性活躍推進法に基づき、

- ① 自社の女性の活躍状況の把握・課題分析、
- ② 行動計画の策定・届出、③ 情報公表などを行う必要があります。

300人以下の努力義務企業におかれましても、ぜひ行動計画を策定し、女性活躍推進にお取り組みください!

※労働者には、パートや契約社員であっても、1年以上継続して雇用されているなど、事実上期間の定めなく雇用されている労働者も含まれます。

次の女性の活躍状況(①～④)については必ず把握し、課題分析を行うことが必要です。

① 採用者に占める女性比率

② 勤続年数の男女差

③ 労働時間の状況

④ 管理職に占める女性比率

上記の結果を踏まえて、行動計画の策定を行ってください。

行動計画には、(a) 計画期間 (b) 数値目標 (c) 取組内容 (d) 取組の実施時期 を盛り込んでください。

詳細は、女性活躍推進法特集ページ

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000091025.html>

女性活躍推進法特集ページ

検索

女性の活躍推進に関するお役立ち情報

1

セミナー

各種セミナーの開催

女性が活躍できる環境づくりを進めるため、企業トップ及び管理職を対象にしたセミナーや、女性が将来のキャリアデザインを描き、意欲を持って働くことができるようキャリア支援のセミナーなどを開催しています。

問 鹿児島県男女共同参画室

2

表彰

県女性活躍推進優良企業知事表彰

県内企業の優れた取組を情報発信することで、県内全体の取組を拡大するために、女性活躍に向けて積極的に取り組む企業を表彰します。詳細については、お問い合わせ先に御確認ください。

問 鹿児島県男女共同参画室

3

認定等

県女性活躍推進宣言企業

女性が働きやすい職場づくり、環境整備、制度の導入、登用、採用目標などについて、それぞれの状況に応じた取組を宣言する企業を募集しています。詳細については、裏表紙をご覧ください。

鹿児島県女性活躍推進宣言企業

検索

問 鹿児島県男女共同参画室

えるぼし認定

行動計画の策定・届出を行った企業のうち、女性の活躍推進に関する取組の実施状況等が優良な企業は、都道府県労働局への申請により、厚生労働大臣の認定(えるぼし)を受けることができます。認定を受けた事業主は、厚生労働省が定めた認定マークを商品や広告などに付し、女性活躍推進事業主であることをPRすることができます。



えるぼし認定マーク

問 鹿児島労働局雇用環境・均等室

4

助成金

問 鹿児島労働局
雇用環境・
均等室

※平成29年度の
助成金の内容
です。



① 女性活躍加速化コース

女性活躍推進法に基づき、自社の女性の活躍に関する「数値目標」、数値目標の達成に向けた「取組目標」を盛り込んだ「行動計画」を策定して具体的に取り組み、目標を達成した事業主にそれぞれ一定額を助成

② 出生時両立支援コース

男性労働者が育児休業を取得しやすい職場風土づくりに取り組み、男性労働者に育児休業を取得させた事業主に一定額を助成

③ 介護離職防止支援コース

仕事と介護の両立支援のための職場環境整備を行い、「介護支援プラン」の作成により、介護休業の円滑な取得及び職場復帰または介護のための勤務制度の利用の支援を行った事業主に一定額を助成

④ 育児休業等支援コース

「育休復帰支援プラン」の作成により、育児休業の円滑な取得及び職場復帰の支援を行った場合や育児休業取得者の代替要員を確保し、育児休業取得者を原職等に復帰させた中小企業事業主に一定額を助成

⑤ 再雇用者評価処遇コース

妊娠、出産、育児または介護を理由として退職した労働者が就業が可能となった場合に、その経験、能力が適切に評価され働くことができる再雇用制度を導入し、再雇用者を継続雇用した事業主に一定額を助成

お 問 い
合 わ せ 先

■鹿児島県男女共同参画室
■鹿児島労働局雇用環境・均等室

男女共同参画や女性活躍に関すること
職場の女性の活躍推進や仕事と家庭の両立支援に関すること

TEL 099-286-2634
TEL 099-223-8239(制度)
TEL 099-222-8446(助成金)

女性がいきいきと働くことができる鹿児島を目指して

鹿児島県では、平成29年3月末に策定しました「鹿児島県女性活躍推進計画」において2つの重点目標を設定し、その達成に向けて積極的に取り組んでいます。

- ① 働く女性が能力を発揮していきいきと活躍できる環境づくり ② 男女がともに働きやすい環境づくり

女性の活躍推進に向けた主な取組等

女性活躍の気運醸成と「見える化」

- 鹿児島県女性活躍推進会議の開催
- 企業トップや管理職向けセミナーの開催
- 女性活躍推進優良企業の表彰
- 女性活躍推進宣言企業の登録

女性の能力発揮の支援

- 女性のキャリアアップ支援
- 働きたい女性等の再就職支援
- 起業家スタートアップ支援
- 女性農業者ビジネスサポート

子育て支援環境の整備

- 保育所等の整備促進
- 放課後児童クラブの整備促進
- 事業所内保育施設の設置促進

働き方改革の推進

- 子育て応援企業の登録
- 知事等によるイクボス宣言
- 働き方改革セミナーの開催

男性の家事・育児等への参画促進

- 男性の家事・育児応援サイトの運営
- イクメン養成講座の開催
- 男性向けセミナーの開催



鹿児島県女性活躍推進会議

女性活躍の取組を加速化するため、平成28年6月24日に「鹿児島県女性活躍推進会議」を設立しました。同会議と連携し、県内の好事例や情報の共有を図り、気運醸成等に取り組めます。

経済団体

鹿児島県商工会議所連合会、鹿児島県商工会連合会、鹿児島県経済同友会、鹿児島県経営者協会、鹿児島県中小企業団体中央会

農林水産関係団体

鹿児島県農業協同組合中央会、鹿児島県漁業協同組合連合会、鹿児島県森林組合連合会

多様な主体による連携体制

行政機関

鹿児島県市長会
鹿児島県町村会
鹿児島県

女性ワーキンググループ

広く各分野で働く女性で構成

関係機関

鹿児島大学
鹿児島労働局

女性活躍推進優良企業表彰制度を創設しました

県では、女性の活躍推進に向けて、女性の管理職等への登用や能力開発、子育て支援、全社を挙げた職場風土づくり等に積極的に取り組み、女性が活躍している企業の表彰制度を創設しました。平成29年9月13日に開催しました、女性活躍推進企業トップセミナーにおいて、栄えある第1回目となる女性活躍推進優良企業の表彰を行いました。

表彰
企業

城山観光株式会社, 株式会社新日本科学,
株式会社トヨタ車体研究所

50音順



左から城山観光株式会社, 三反園知事,
株式会社新日本科学, 株式会社トヨタ車体研究所

4P～6Pでは、平成29年度の鹿児島県女性活躍推進優良企業として表彰された3社の取組をまとめています。女性の登用や継続就業に積極的に取り組む県内企業の優れた取組として、今後の取組の参考としてご活用ください。

宿泊業

城山観光株式会社



鹿兒島市新照院町41番1号 ●従業員数 男性375名／女性489名
●管理職者数 男性139名／女性16名

女性社員一人ひとりが活躍できる職場づくり

城山観光ホテルで働く従業員の約6割が女性です。構成は社員、契約社員、アルバイト、パートと様々で、また幅広い年齢のスタッフが勤務しています。多くの女性たちが働きやすいようこれまで様々な制度やしきみづくりに取り組んできました。多様な職種への採用・配置による職域の拡大、資格取得の支援や仕事と家庭の両立支援などそれぞれの立場にあった制度が利用できます。そして平成29年2月26日に「女性活躍推進グループ」が新設され、トップの強い意志によってこれまで以上に女性活躍に取り組む姿勢が示されました。女性管理職の増加や、また多様な働き方を認めて継続して就労ができる体制など、1人ひとりの女性が能力を発揮して活躍できる企業を目指します。



託児所の設置と 城山独自の 短時間 勤務制度

妊娠・出産しても働きたいという女性たちの声と、優秀な女性に長く働いてほしいという会社の思いのもと、平成13年にホテルの敷地内に託児所を設置しました。託児所のおかげで近年の産休・育休取得率はほぼ100%です。さらに平成26年に育児短時間勤務制度を利用できる期間を、子供が小学校6年生までに延長しました。子供を持つ母親たちが安心して働くことができるよう制度を整えています。



男女がともに 働きやすい 職場づくり

「女性活躍推進グループ」と同時に「働き方改革推進グループ」も設置されて、男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取組がスタートしました。早速、2つのグループがタイアップして、まずは勤務時間の短縮と休みを取りやすいしきみを導入しました。



- 朝行事の見直し、廃止
- 半休制度やNO会議デー、パソコンの時間制限の導入
- 「女性を活かす」職場づくりに向けた管理職研修の実施

職場風土の改善が、女性が働きやすい・活躍できる職場＝男性も働きやすい職場であると考えて、今後もさらなる取組を行っていきます。

サービス業

株式会社新日本科学



鹿児島市宮之浦町2438番 ●従業員数 男性466名／女性475名
●管理職者数 男性95名／女性21名

わたしも幸せ，あなたも幸せ，みんな幸せ

当社は、「わたしも幸せ、あなたも幸せ、みんな幸せ」というスローガンを掲げています。すべての社員が、生き生きと輝きながら成長できて、その能力を十分に発揮できる企業風土を目指し、さまざまな取り組みを実施しています。

このような企業理念のもと、当社は、子育て世代の女性がキャリアを断絶することなく活躍するために、現場の声を吸い上げ、適宜、問題点を検討し、解決策を実行してまいりました。

その結果、事業所併設託児所や様々な制度の導入によって女性が活躍できる環境が整い、女性の退職率は11%（平成19年）から5.9%（平成29年）と激減、女性管理職比率も7.3%（平成19年）から18.1%（平成29年）ま

で増加し、平成29年6月には、創業60周年にして初の女性執行役員が就任しました。

平成28年、当社は、厚生労働省の定める5つの評価項目である「採用」「就業継続」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多様なキャリアコース」のすべての項目を満たし、認定段階のうち最高評価である3段階目「えるぼし」認定を受けました。今後も女性を含むすべての社員がより一層輝き活躍できる企業を目指し、ひいては近隣の企業へも女性活躍の輪が広がるよう取り組んでまいります。



働くなでしこ委員会

平成26年、女性社員でつくる「働くなでしこ委員会」を発足。当委員会には、子育て世代、子育て終了世代、独身者から組織横断的に12名のメンバーが集結しました。女性が働きやすい、活躍できる職場をつくるために、アンケートにより社員の声を吸い上げ、月に1回意見交換会を実施。経営層に施策を提案し、半日・1/4日単位の有給休暇制度が導入されました。学校行事等に参加しやすい環境が整ったことで、有給休暇取得率は54.6%（平成26年）から65.5%（平成28年）まで上昇しました。その他、子供が1歳になる前に育児休暇から復帰すると、保育料を補助する制度も導入されました。また、組織を超えた情報交換の場として、月に1回「ランチョンセッション」を開催し、学校や習い事における情報交換、子供の長期休暇の過ごし方等、種々のテーマについて、食事をとりながら自由に意見交換を行っています。



ランチョンセッションの風景



事業所併設託児所(キラキラキッズ)の子供達

次世代管理職養成

当社では、皆が納得できる、公正公平な評価制度（人事制度）が、社員のスキル・モチベーションとキャリア形成を支援しています。

そして、男女差別なく、フラットな組織をつくるため、性別や勤続年数に関係なく、適性判断した上で人選した対象者に向けて、管理職（課長級）育成、上級管理職（部長級）育成の2段階の研修を実施しています。

株式会社トヨタ車体研究所



霧島市国分上之段395番地1 ●従業員数 男性351名／女性52名
●管理職者数 男性113名／女性4名

女性活躍推進からダイバーシティを楽しむ会社へ

当社がクルマづくりを通じて社会に貢献し永続的に成長・発展していくためには、「最大の潜在力」と言われる女性の力を最大限に発揮し、成長・活躍できるステージづくりが重要であると考えます。

これまでの取組は、働きやすい職場づくりを目指し育児、時短勤務、年休取得の推進（年休カットゼロ・連続年休取得）など選択肢を増やすための人事制度づくりに積極的に取り組み社内制度は充実してきました。

しかしながら、クルマづくりに携わるエンジニアという男性中心の業種の中で、「女性エンジニアの採用・育成」と「女

性管理職の登用」といった課題に対して、女性が「やる気」、「働きがい」を感じるステージづくりこそが次へのステップであると考え、会社方針においても、重点取組事項として掲げ、トップ自らも様々な機会にメッセージを発信しています。

また、女性活躍の推進を通じて、①一人ひとりがチャレンジマインドと感度を高め、人間力と技術力を磨く、②会社の歴史に感謝し、自分たちの技術・製品に自信と誇りを持つ、③当事者意識と覚悟を強く持ち、変革を続けることで誰もがいきいきと働ける会社づくりにつながると考えます。

女性活躍推進
ワーキング・
グループ始動

平成28年4月から女性活躍ワーキング・グループ（愛称：ジョカツ）を立ち上げ、女性の草の根の声を聞き、女性の視点・女性の発想で企画・提案できるよう自律的な活動を重視して取り組んでいます。

会社は、「ジョカツ」を活性化と一体化の重要な原動力と位置付け、その声を吸い上げ、支援・後押しするよう経営層も意思疎通を図りながら様々な改革を進め、「成長と実現」の場を提供しています。

また、女性のみでなく組織横断的な活性化活動として『活性化ワーキング・グループ』や『労働組合』とも連携しながら“縦×横×斜め”の双方向で三者が相互に刺激し合いながら相乗効果を産み出し、様々な改革につなげ、性別・年齢・職種（職位）・勤務地に関係なくダイバーシティを楽しむ会社に向けた活動をしています。

女性視点での
様々な提案

ジョカツでは、①キャリア意識の向上、②コミュニケーション、③働き方改善、④風土醸成といった視点で主体的な提案を行っています。育児短時間勤務をより使いやすい仕組みとするため、フレックスタイム制の提案など働きやすい環境づくりでの成果もそうですが、女性自身の成長と自己実現に向けて、自律的にキャリア形成を考えるための「キャリアプランシート」、「にじいろウーマン」といった企画・提案するなど着実に女性も会社も意識が変わり始めています。単に働きやすい環境づくりではなく、こういった自律的な取組こそが、ダイバーシティを推進する上で重要な取組になります。

ジョカツ（ロゴマーク）



<コンセプト>
女性らしい桜をモチーフに
ジョカツ委員から女性（ピンク）と男性（ブルー）を
つなぎ輝く未来に向けて活動する♪



「鹿児島県女性活躍推進宣言企業」 を募集しています!

「鹿児島県女性活躍推進会議」において、平成28年6月24日に、キックオフ宣言として、「女性はその個性と能力を十分に発揮して活躍し、男女がともに安心して生き生きと働くことができる「鹿児島」の実現を目指し、率先して取り組むこと」を宣言しました。

これに賛同して、女性が働きやすい職場づくり、環境整備、制度の導入、登用や採用目標などについて、それぞれの状況に応じた取組を宣言する企業を募集しています。

対象は?

鹿児島県内に本社又は、事業所がある企業、事業所、法人、団体等です。

宣言する内容は?

女性の活躍推進に向けた「組織トップからのメッセージ」や「今後の取組内容」など、企業等の実情に応じて、宣言様式に自由に記載していただけます。

宣言すると?

- ◆宣言企業として登録された場合には、企業名及び宣言内容を県のホームページに公表しますので、自社のPRになります。
- ◆ハローワークの求人票に登録企業である旨掲載していただけます。
- ◆県等が実施する「女性の活躍」に関する各種セミナー、講演会等の情報を提供します。

登録の流れ

- (1) 郵送又は持ち込みにより鹿児島県女性活躍推進会議事務局(鹿児島県県民生活局男女共同参画室)(以下「事務局」という。)へ申請書を提出してください。
- (2) 事務局で、提出された申請内容について確認させていただいた上で、宣言企業として登録します。

◆宣言様式は県のホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/ab15/20170530.html> からダウンロードできます。

宣言企業22団体(平成30年2月末現在)



(株)新日本技術コンサルタント



(株)田島組



(株)東条設計



(株)山形屋



町田酒造(株)



末重建設(株)



西南水産(株)



佐川急便(株)鹿児島営業所



(株)新日本科学



大和リース(株)鹿児島支店



(株)トヨタ車体研究所



城山観光(株)



東京海上日動
東京海上日動火災保険(株)



(株)フォーエバー



福地建設(株)



国立大学法人鹿児島大学



(株)日本政策金融公庫鹿児島支店

一生涯のパートナー

第一生命



第一生命保険(株)鹿児島支社



鎌田建設(株)



(株)オーリック



損害保険ジャパン日本興亜

損害保険ジャパン日本興亜(株)



(株)システムメディア

応募・問い合わせ先

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号

鹿児島県女性活躍推進会議事務局(鹿児島県県民生活局男女共同参画室)

TEL:099-286-2634 FAX:099-286-5541

E-mail:harmony@pref.kagoshima.lg.jp